

山梨県立大学教職課程の概要

1. 山梨県立大学・教職課程の目標

本学の教職課程は、県内外の学校現場で活躍できる人材を育てるために、下記のような到達目標のもと、教師としての豊かな人間性と専門職性の基礎を培うことを目指しています。

山梨県立大学・教職課程における学習到達目標

(知識・理解)

児童・生徒の心身および社会性の発達のプロセスを理解し、学習指導や生徒指導のための専門的な知識を習得するとともに、日本の教育政策の変遷や将来の課題、学校現場の諸問題について多角的に考察することができる。

(思考・技能・実践)

授業づくりのための構想力や実践力、教材の分析力、また生徒指導に際してのコミュニケーション能力や課題解決力など、教員として求められる専門的な指導力を習得し、実際に活用することができる。

(態度・志向性)

将来教育に携わる者として、教員の仕事に対する使命感や責任感を強く自覚し、学習指導や生徒指導に際して求められる専門的な指導力を高めようと努めるとともに、社会や人間のあり方について視野を広げ、批判的・継続的に探究することができる。

2. 取得できる教諭免許状の種類

現在各学部・学科では、下表のような教諭免許状を取得することができます。

【本学で取得できる教諭免許状の種類】

学部	学科	教諭免許状の種類（免許教科）
国際政策学部	総合政策学科	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語、公民*）
	国際コミュニケーション学科	中学校教諭一種免許状（英語、国語） 高等学校教諭一種免許状（英語、国語）
人間福祉学部	人間形成学科	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状
看護学部	看護学科	養護教諭一種免許状 養護教諭二種免許状（保健師免許取得後申請により）

* 2021 年度入学生まで

中学校・高等学校・養護教諭免許課程カリキュラム・ツリー（2019年度新課程）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		1年次		2年次		3年次		4年次		到達目標
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教育の基礎的理解	教職の理念・歴史・思想	教育基礎論								【教職課程「到達目標」】 (知識・理解) 児童・生徒の心身および社会性の発達過程を理解し、学習指導・生徒指導のための専門的な知識を習得するとともに、日本の教育政策の変遷や将来の課題、学校現場の諸問題について多角的に考察することができる。 (思考・技能・実践) 授業づくりのための構想力・実践力、教材の分析力、また生徒指導に際してのコミュニケーション能力や課題解決力など、教員として求められる専門的な指導能力を習得し、実際に活用することができる。 (態度・志向性) 将来教育に携わる者として、教員の仕事に対する使命感や責任感を強く自覚し、学習指導や生徒指導に際して求められる専門的な能力を高めようと努めるとともに、社会や人間のあり方について視野を広げ、批判的・継続的に探究することができる。
	教職の意義、教員の役割・職務内容		教職概論							
	教育に関する社会的・制度的・経営的事項				教育経営論					
	児童・生徒の心身の発達、学習過程	教育心理学／発達と教育の心理								
	特別の支援を必要とする児童・生徒に対する理解			特別支援教育概論						
	教育課程の意義、編成の方法			教育課程論						
道徳、総合学習、指導、学習等の相談及び生徒	道徳の理論・指導法				道徳教育の指導法					
	総合的な学習の時間の指導法			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法						
	特別活動の指導法									
	教育の方法・技術			教育方法論						
	生徒・進路指導の理論・方法				生徒・進路指導					
	教育相談		教育相談の理論と方法							
各教科の指導法			英語科／国語科／家庭科の指導法Ⅰ～Ⅳ							
			公民科／福祉科の指導法Ⅰ・Ⅱ							
教育実践	介護等体験(中学校)			特別支援学校インターシップ						
	大学が独自に定める科目(一部)			教職サービス・ラーニングⅠ	教職サービス・ラーニングⅡ					
	教育実習						教育実習／養護実習			
	教職実践演習							教職実践演習		
教科に関する専門的事項	各教科(英語科／国語科／家庭科／公民科／福祉科)関連学科専門科目									
養護に関する専門的事項			養護概説／健康相談活動理論							
全免許共通科目(第66条6に定める科目)	日本国憲法／体育科目／外国語コミュニケーション科目／情報機器の操作									

※上記の図は課程履修にあたっての標準的なイメージです。実際の履修年次や必修・選択等の履修方法の詳細については、「学生便覧」や履修マニュアル等を参照してください。

※留学等で上記とは異なる履修計画が予定される場合には、担当教員に必ず相談してください。